

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認年月日 2019年6月14日

東京都作業部会確認年月日 2019年7月10日

事業名

案件名 有明アーバンスポーツパーク スケートボード整備工事

確認の視点		組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> 当該事業は「仮設等のインフラ整備」全般の着実な進捗に資するものであり、東京都が負担することは大枠の合意に基づくものである。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> 大枠合意において、経費分担に関らず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うこととなっている。 整備にあたり、組織委員会が会場状況を把握し、一元的な整備を進めることにより、IOC および IF 要件を反映した施設整備とコスト縮減が可能 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 開催都市契約 大会運営要件で求められている施設の整備 スケートボード競技フィールド整備 	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 東京都土木積算システムを用いて、必要な人数を計上した価格であり、妥当と考える。 積算システムに項目が無いものについては、見積・組織委員会の代価を使用している。 	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> 他会場の FOP の造成を行う競技（海の森クロスカントリー、伊豆マウンテンバイクコース等）についても組織委員会で発注済である。 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> 大枠の合意で公費負担とされた、都有施設における「仮設等のインフラ整備」であり、公費負担の対象として適切であると考ええる。 V3 予算内 	

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。